

# 目次

- 開発用PC と XG-50 の接続 ..... 3
  - コンソールケーブル ..... 3
  - JTAG(SWD) ケーブル ..... 3
  - 電源 ..... 4



# 開発用PCとXG-50の接続

開発用PCからXG-50にプログラムを書き込み、デバッグをするために、

- コンソールケーブル
- JTAG(SWD) ケーブル
- 電源

を接続します。

## コンソールケーブル



写真の **赤** で囲んだ部分がコンソール接続用のピンヘッダになっています。ピンアサインは左にあるシルクのとおり、左から TxD, RxD, GND となっています。

ここに、**TTL-232R-RPI** を下表のとおり接続します。

Pin No.	Function	ケーブル色
1	TxD	黄色
2	RxD	オレンジ
3	GND	黒

## JTAG(SWD) ケーブル

ST-Link/V2 と ARM-JTAG-20-10 を接続した上で、小さい方のコネクタを下の写真のとおり **1番ピン(赤い線)をあわせて** XG-50 に接続します。



## 電源

緑のコネクタに接続します。

From:

<https://wiki.centurysys.jp/> - MA-X/MA-S/MA-E/IP-K Developers' Wiki

Permanent link:

[https://wiki.centurysys.jp/doku.php?id=xg\\_series\\_devel:connect\\_cables:start](https://wiki.centurysys.jp/doku.php?id=xg_series_devel:connect_cables:start)

Last update: 2021/03/01 18:11

